

2023年7月31日

Vol. 124



みんな

題字 谷川俊太郎さん

多様性を認め合う社会へ

副代表理事 高橋由佳

新型コロナウイルス感染症が5類に移行されてから、私たちの生活もようやく日常に戻りつつある中、宮城県もインバウンドなど観光客で賑わっている状況を各地で見かけるようになりました。

2021年以降、社会の日常が大きく変化を持って進んだ年月であったと感じながらも、「多様性」「ダイバーシティ」などの言葉がどこでも目にするようになりました。価値観の違う人々との出会いが増えていく時代となり、それは同時によりよい人間関係を築いていく機会にもつながっていくように思います。

私が活動している法人では、新規就農を目指す方への支援を行っておりますが、多様性の言葉のとおり、さまざまなバックボーンを持つ方々が首都圏をはじめ、県内外から相談に訪れます。自分の将来やキャリアに思い悩むターニングポイントは誰でもにあると思います。ここ最近、転職したいと思う職種に「農業」を考える方が多くなっていると感じておりますが、生きるということに対峙しながら「本当の自分らしさ」を求める気持ちや「何かのために誰かのために役に立ちたい」、いわゆる社会課題を解決する機会を求めているのではないかと感じます。人は、偏見や固定観念などの無意識のバイアスをもってしまいます。

一方で、人は、誰もが「誰かの役に立ちたい」と思う利他のこころを持っています。

私たちも、Non-Profit Organizationの言葉の通り、市民活動を通じて「ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョン」があたりまえにある社会を目指していきたいと思います。



▲ソーシャルファームの一環として栽培しているさつまいもの圃場
10月下旬から収穫と干し芋の加工が始まり、冬からは「巻風干し芋」として販売予定です。

市民と社会のこれからを考える2Days

「私たちはどう生きるか？～加藤哲夫さんの宿題を考える～」

日時：2023年8月25日（金）18:30～21:00、
26日（土）9:30～12:00および13:30～16:00

会場：仙台市市民活動サポートセンター
地下1階 市民活動シアター

参加費：1セッション1,000円（当日現金）

主催：「カタツムリの宿題を考える会」実行委員会

協力：NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター

当法人設立者の一人である故加藤哲夫さん。十三回忌にあたるご命日に仙台に集い、生前に加藤さんが残されたものを持ち寄り、私たちに残された「宿題」を確認するとともに、宿題に取り組む「視点」を持つための集いです。右のQRコードから内容詳細の確認と参加申込ができます。



報告

第25回通常総会が終了しました

6月17日、第25回通常総会を仙台市市民活動サポートセンターで開催しました。

正会員54名中、出席15名、委任状17名、書面表決6名、合計36名と定款第22条に定める定足数を満たし、総会は成立しました。議長は、定款第23条に基づき、渡邊一馬代表理事により原亮理事を指名、選任。議事録署名人は議長により白川由利枝さん、NPO法人麦の会の飯嶋茂さんを指名、選任し審議に入りました。

議案は、第1号議案2022年度事業報告及び決算の承認、第2号議案2023年度事業計画及び収支予算の審議・決定の2つ。原案通り議決されました。

中期計画の進捗を数値化してご報告したことについて分かりやすいとの評価や、仙台の街を見ていて思うこと、会員や寄付の拡大についてのアイデアなど、



▲今年もオンラインを併用して開催しました

励みとなるお言葉も頂戴いたしました。引き続きお力添えをよろしくお願いいたします。

事業報告 せんだい・みやぎソーシャルハブ 「私たちの知らない世界。」シリーズ

せんだい・みやぎソーシャルハブでは、4月～6月に3回にわたり「私たちの知らない世界。」と題し、社会課題を市民に開く話題提供を行いました。



▲多賀城市役所の柴田さんより話題提供いただきました（4月）

4月は「刑務所や少年院を出所、出院した方々の自立をサポートする話」として、日本財団職親プロジェクト宮城支部支部長の笹川慎太郎さんと多賀城市保健福祉部次長兼社会福祉課長の柴田光起さんをゲストに、出所者・出院者が社会復帰する際に直面する課題や、

企業が職と住まいを提供しながら更生をサポートする仕組みを紹介いただきました。

5月は「あなたはヤングケアラーという存在を知っていますか？」をテーマに一般社団法人ヤングケアラー協会の小林鮎奈さんとNPO法人アスイクの森川ゆとりさんに、家族の世話や介護、家事などを行っている18歳未満の子どもたちの現状をお話いただき、どのように接し、どのような支援ができるかを参加者も一緒に考えました。

6月は「教育機会を十分に受けられなかった人たちのこと」として、仙台自主夜間中学の園田淳子さんと個別教室のアップル代表畠山明さんに、自主夜間中学に通う方々や、教育支援を受ける女性たちの背景などを教えていただきました。

3回それぞれ、話題提供だけでなく、参加者自身が、社会の課題解決にどのように関わっていくか向き合っていたり時間となりました。

詳細は、[notel](#)にレポートがあります。
右のQRコードからご覧ください。



発行 特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター

住所：〒980-0803 仙台市青葉区国分町1-8-10 大和ビル4階

TEL：022-264-1281

FAX：022-264-1209

E-mail：minmin@minmin.org

HP：https://minmin.org/



HPはこちら